

歴博だより

Museum of EHIME History and Culture's News

続

縄文時代早期の世界

上黒岩岩陰遺跡と

その時代

これは、
一万年前のモノ語り

2014年

10.11  12.7 

休館日

10/14(火)・10/20(月)・10/27(月)・11/4(火)
11/10(月)・11/17(月)・11/25(火)・12/2(火)

開館時間

午前9時～午後5時30分(入館は午後5時まで)

観覧料

大人(高校生以上) 550円(450円)
小中学生・65歳以上 280円(250円)

※()内は20名以上の団体料金。
その他に常設・特別展共通券もあります。

主催：愛媛県歴史文化博物館

後援：愛媛県市町教育委員会連合会・愛媛新聞社・NHK松山放送局
南海放送・テレビ愛媛・あいテレビ・愛媛朝日テレビ
愛媛CATV・FM愛媛

本展示は『えひめの記憶』をみる・はなす・きくとの共同企画です。

記念講演会 10月26日(日) 13:30～15:00

「上黒岩岩陰遺跡の文化遺産と未来像」

当館多目的ホール 定員294名 小林謙一氏(中央大学教授)

上黒岩岩陰遺跡(久万高原町)は、全国に誇る縄文時代黎明期の岩陰遺跡であり、本県の歴史を語る上でも欠かすことのできない文化財といえます。これまでの当館の展示においても幾度となく取り上げてまいりましたが、とりわけ2005年には「上黒岩岩陰遺跡とその時代―縄文文化の源流をたどる―」と題した企画展示を開催し、貴重な資料の一端をご覧いただきました。

そうした展示から9年経ちましたが、その間にも上黒岩岩陰遺跡に関する総合的な研究は、各機関・研究者によって積極的に進められ、2009年には発掘調査報告書の刊行、2012年には埋葬犬骨の研究結果が発表されるなど多くの成果が示されてきました。

そこで本展では、最新の研究で明らかになった新たな知見をご覧いただくことで、上黒岩岩陰遺跡本来の姿に近づいていくとともに、定住化の傾向が強まり、自然との関係が深まったことで、新しい文化が列島各地に展開・定着した時期である「縄文時代早期」に焦点を当て、縄文人たちのくらしを紹介します。展示を通じて、約1万年前の世界をお楽しみください。

考古

せきぞく くぼみいし
「石鏃」と「凹石」

今回は特別展「続・上黒岩岩陰遺跡とその時代」に関連して、縄文時代を代表する石器である「石鏃」と「凹石」について紹介したいと思います。これは前者が矢の先端に装着する狩猟具、後者が堅果類を割る際に使用する加工具と考えられています。

この2つの石器は、縄文時代になって生み出された、もしくは普及・定着した道具です。縄文時代早期の遺跡からは一定量まとまった状態で出土することも多く、縄文人にとっては生活を営む上で欠かせない道具であったことがうかがえます。

こうした石器の登場からは、自然環境や動物相の変化、それに伴って生業が多様化したことが想定できます。さらには「石鏃＝男性」、「凹石＝女性」という両者のイメージから、男女による仕事の分業化を指摘されている研究者もいます。

そうした場合、旧石器時代における狩猟を中心としたリスクが伴う遊動生活から、縄文時代になって、身の周りにある森の資源を利用する定住生活へとシフトチェンジしたことで、女性の手でも危険を冒さずに食物（木の表皮採取が可能になったことが想像できます。



出土地：久万高原町上黒岩岩陰遺跡
年代：縄文時代早期
所蔵：石鏃(山館保管)、
凹石(慶義塾大学民族学考古学研究室)

「石鏃」は男性の手によって、「凹石」は女性の手によって、縄文社会の中に浸透していった道具と考えられます。

(専門学芸員 兵頭 勲)

※本資料は、特別展「続・上黒岩岩陰遺跡とその時代—縄文時代早期の世界—」(会期：平成26年12月7日まで)に展示しています。

考古

きんせいからくさもんのかひらがわら
均整唐草文軒平瓦

真導廃寺は西条市街の南方、国道11号線にかかる加茂川橋の南約1km、加茂川左岸の低位の河岸段丘に位置していました。この付近では、昭和初期に布目瓦が採集されており、古くから地元の研究者等により寺院跡の存在が推察されてきました。昭和49



資料名：均整唐草文軒平瓦
出土地：西条市真導廃寺
年代：奈良時代
サイズ：最大幅25.9cm、瓦当厚4.5cm
所蔵：当館保管

年に浄水場がここに建設されることとなり、記録保存のために翌年発掘調査が行われた結果、数種類の瓦が見つかりました。

瓦は、6世紀末、奈良県明日香村に日本最古の寺院である飛鳥寺が創建されて以降、仏教の波及にあわせ、地方の寺院建築へ使われるようになってきたといわれています。種類としては平瓦や丸瓦等がありますが、今回紹介するのは、寺院の軒先を飾っていた均整唐草文軒平瓦で、真導廃寺の平瓦の中で最も多く出土しているものです。内区の中心飾りが平城宮跡出土で主流となっているものとは逆にあっており、そこから唐草文が左右に反転し、花蕾をもっているのが特徴です。同じタイプのものが奈良県の薬師寺(平城薬師寺)で見つかっていますが、そこで使われたものは、軒平瓦出土総数の1%未満と非常に数が少なく、出土地点も、僧坊と回廊しかありません。これらのことから、伊予で生産されたものが持ち込まれ補修に使われた可能性が指摘されており、この瓦は8世紀の畿内との交流がうかがえる貴重な資料といえるでしょう。

(専門学芸員 亀井 英希)

続・上黒岩岩陰遺跡とその時代 — 縄文時代早期の世界 — 関連イベントのご案内

平成26年
10月11日(土)~12月7日(日)

休館日 10/14・20・27・11/4・
10・17・25・12/2

れきはく★秋のスタンプラリー

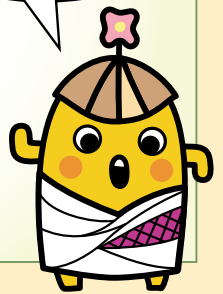
日時／特別展会期中
9:00~17:30(受付は17:00まで)
場所／常設展・新常設展示室・企画展示室
参加費／特別・常設展共通券(当日分)が
必要です。

※各イベントの受付時間は、終了時間の30分前までと
させていただきます。
※各イベントの事前申し込みは受け付けておりません。

縄文人にへんしん☆

日時／特別展会期中の
土曜・日曜・祝日
9:00~17:30
場所／企画展示室前
参加費／特別観覧券(当日分)が
必要です。
鹿の毛皮の衣装を着て、
記念撮影!

その他にも
盛りだくさん!



愛媛県歴史文化博物館 開館20周年記念イベント

平成26年11月16日(日)

当日は常設展・特別展ともに
観覧無料!

わきはくのあしあと

平成26年7月12日(土)~9月15日(月・祝)の土・日・祝日には、特別展「忍たま乱太郎 忍者の世界—夏休みは歴博へ急げ!の段—」の関連事業として様々なイベントを実施しました。忍者の衣装を着ることができるへんしんコーナーやオリジナルの手裏剣マグネット、折り紙で変形手裏剣づくりなどたくさんのお子様たち楽しんでいただきました。その他にも夏の恒例イベント「れきはくお化け屋敷 part5 -戦国の段-」は今年も大盛況で長蛇の列ができるほどでした。たくさんの皆様のご来館、誠にありがとうございました。



友の会よりお知らせ

10月1日より友の会会費が半額になります。友の会は、愛媛の歴史や民俗について学び親しむ人たちの集まりです。10月1日より入会いただく場合は、会費が半額になります。常設展が無料になる他、この秋の特別展も無料でご覧いただけます。ぜひ、この機会にご入会ください。

お問い合わせ先: 友の会事務局 0894-62-6222 星加

平成 26 年度 歴史文化講座 下期

歴史・文書講座 13:30~15:00

- 講座番号⑥「源氏物語連続講座⑥「光源氏の政治的な切迫」
日時:11月15日(土) 講師:伊井 春樹(当館名誉館長)
- 講座番号⑦「宇和旧記」を読む①
日時:1月18日(日) 講師:土居 聡明(当館専門学芸員)
- 講座番号⑧「宇和旧記」を読む②
日時:1月25日(日) 講師:土居 聡明(当館専門学芸員)
- 講座番号⑨「毛利氏と長宗我部氏の南予介入」
日時:2月1日(日) 講師:山内 治朋(当館専門学芸員)
- 講座番号⑩「幕末宇和島藩士関係文書を読む①」
日時:2月22日(日) 安永 純子(当館専門学芸員)
- 講座番号⑪「吉田初三郎が描いた世界」
日時:3月8日(日) 平井 誠(当館主任学芸員)
- 講座番号⑫「幕末宇和島藩士関係文書を読む②」
日時:3月22日(日) 安永 純子(当館専門学芸員)

民俗講座 13:30~15:00

- 講座番号③「親子で学ぼう!古い道具と昔の暮らし」
日時:1月17日(土) 講師:松井 寿(当館主任学芸員)
- 講座番号④「浮世絵のデザインと表現」
日時:3月7日(土) 講師:宮本 いづみ氏(服飾研究家)

考古講座 13:30~15:00

- 講座番号③「続・上黒岩岩陰遺跡とその時代展のみどころ」
日時:10月18日(土) 講師:兵頭 勲(当館専門学芸員)
- 講座番号④「石器から見た縄文時代前夜の様相」
日時:11月1日(土)
講師:沖野 実氏((公財)愛媛県埋蔵文化財センター調査員)
- 講座番号⑤「須恵器の生産と流通」
日時:2月7日(土) 講師:三吉 秀亮氏(愛媛大学埋蔵文化財調査室講師)

お問い合わせ:企画普及グループ・歴史文化講座係
TEL(0894)62-6222 / FAX(0894)62-6161

体験講座

- 講座番号⑦「そうだ!久万高原へ行こう・秋の3館めぐり」
(定員:30名) 日時:11月8日(土) 8:00~18:00
参加費:3,500円
対象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
 - 講座番号⑧「タオル美術館見学」
(定員:30名) 日時:12月20日(土) 9:00~18:00
参加費:4,000円
対象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
 - 講座番号⑨「ビーズでアクセサリづくり」
(定員:20名) 日時:1月24日(土) 13:30~15:30
講師:清家 芳子氏(ビーズアクセサリインストラクター)
参加費:800円程度
対象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
 - 講座番号⑩「お香をたいてみよう」
(定員:20名) 日時:2月21日(土) 13:30~15:00
講師:橋本 典子氏(香十)
参加費:200円
対象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
 - 講座番号⑪「鞆の浦のおひなさまを訪ねる」
(定員:30名) 日時:3月14日(土) 7:30~18:30
参加費:6,000円程度
対象:小学生~一般 ※小学生は必ず保護者同伴
- 特別展開連講演会「上黒岩岩陰遺跡の文化財産と未来像」
日時:10月26日(日) 13:30~15:00
講師:小林 謙一氏(中央大学教授)

各講座の申込方法

希望する講座名・講座番号とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、開講日の1週間前(体験講座は2週間前)までにハガキなどでお申し込みください。定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。参加費は、昼食代・講師謝金・施設観覧料等の実費です。

開館記念日無料開放日のご案内

当館では11月で開館20年目を迎えます。**11月16日(日)**は開館を記念し、常設展・特別展が無料でご利用いただけます。ぜひ、博物館にお越しください。

ご利用案内

- 開館時間 9:00~17:30(入館は17:00まで)
- 休館日 月曜日(下記カレンダーをご参照ください)
- 観覧料

	区分	観覧料	
		一般	団体(2割引)
常設展 テーマ展	大人(高校生以上)	510円	410円
	小・中学生	無料	無料
	65歳以上	260円	210円
新常設展	観覧無料		

※企画展・特別展の観覧料はその都度定めます。
※団体は20名以上です。
※テーマ展をご覧いただくには、常設展示観覧料が必要です。

展示スケジュール 2014.9~2015.3

2014 9	常設展 えひめの歴史と文化	
10		特別展「続・上黒岩岩陰遺跡とその時代-縄文時代早期の世界-」 平成26年10月11日(土)~12月7日(日) ▶「開館記念イベント」平成26年11月16日(日)
11		
12	新常設展 密と海-空と海-内海清美展	
2015 1		▶「新春イベント」平成27年1月2日(金)~1月5日(月)
2		企画展「おひなさま」 平成27年2月17日(火)~4月5日(日) ▶「おひなさまイベント」平成27年2月28日(土)・3月1日(日)
3		

※都合により、行事や展示、日程などについては、変更・中止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Museum Calendar 2014.9-11 休館日

9月							10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6			1	2	3	4								1
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29



愛媛県歴史文化博物館

MUSEUM of EHIME HISTORY and CULTURE

管理運営:指定管理者 イヨテツ ケーターサービス株式会社
〒797-8511 愛媛県西予市宇和町卯之町 4-11-2 電話:0894-62-6222

【ホームページ】 <http://www.i-rekihaku.jp>

●発行日 平成26年9月1日 ●編集/発行 愛媛県歴史文化博物館